

じりつかつどうぶ 自立活動部だより



第1号

令和5年4月17日

こうないしえん 校内支援について

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。希望が丘高等特別支援学校に入学してどうですか？
新しい高校生活を頑張ろうという気持ち、どういふ勉強や学校生活が待っているか分からず、とても不安な気持ち、いろいろな気持ちが押し寄せて大変なことでしょう。

在校生の皆さん、進級おめでとうございます。3年生の皆さんは、いよいよ進路を決定していかなければならないというプレッシャーがあるかもしれません。2年生の皆さんは、後輩ができてとても張り切っている人、なかなか目標が立てられずもやもやしている人、いろいろな人がいることでしょう。

生徒の皆さんが、学校や家でのイライラ・もやもやなどが解決できないとき、本校で皆さんの悩みを聞いてくれる2人の先生を紹介します。カウンセラー：村山多江先生 スクールカウンセラー：有木明子先生
スクールカウンセラーの有木先生に相談したいことがあれば、担任の先生または村山先生に予約をお願いしてください。保護者の方のカウンセリングもできますので、お知らせください。

1年間、皆さんが心身ともに健康でたくましく学校生活が送れますように、応援していきます。

じりつかつどう 自立活動について

本校では、毎日自立活動の学習を行います。自立活動の学習は、他の教科とは少し違います。生徒一人一人に自立活動の目標を設定し、その目標を達成するために、それぞれに合わせた学習を行います。

では、自立活動についての説明をします。

～自立活動の授業とは？～

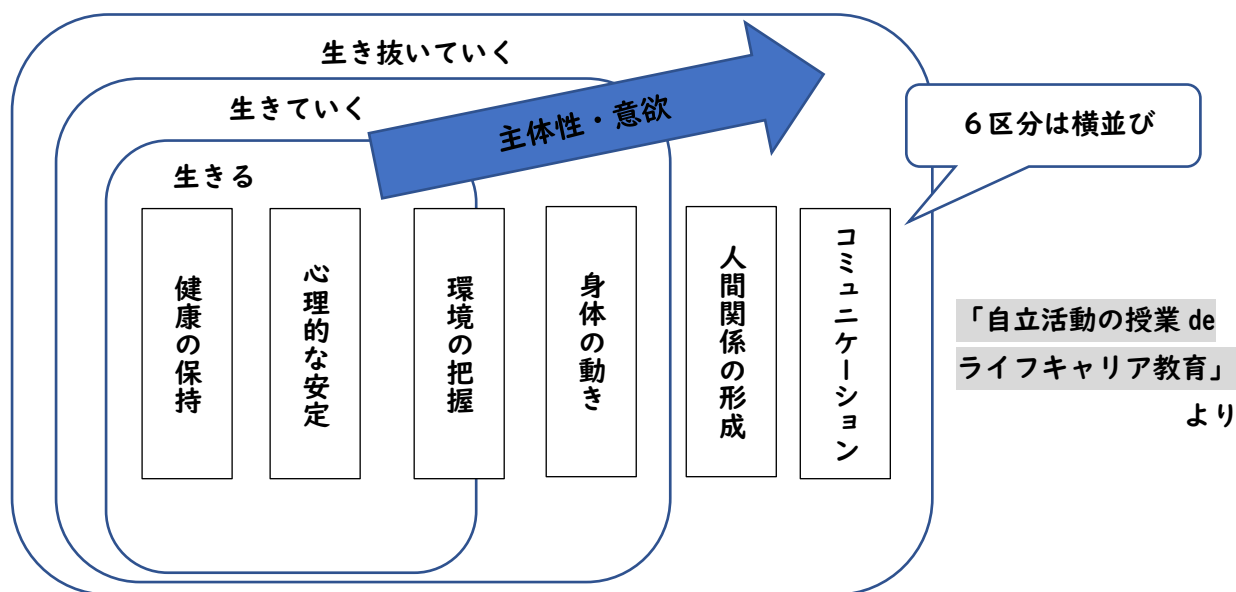
障害のある生徒は、障害によって日常生活場面や学習場面で様々なつまずきや困難が生じるため、通常の教科教育をしているだけでは十分とは言えません。そこで、実態に応じて自立活動の学習内容を設定し、計画的に取り組むことが大事になります。生徒自身が、「困っていること」「うまくできないこと」「もっとできるようになりたいこと」など、自分の課題を考えることが一番大事です。

～自立活動の内容～

前のページに書いた、^{にちじょうせいかつぼめん}日常生活場面や^{がくしゅうばめん}学習場面で^{さまざま}様々な^{ごんなん}つまずきや困難がどこにあるのかを、
下の^{くぶん}6区分^{こうもく}27項目から^{ひら}拾い上げ、^{ひつよう}どのような学習が必要なのかを、^{いっしょ}担任の先生と一緒に考えます。

自立活動の内容（6区分27項目）	
1. 健康の保持	4. 環境の把握
(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3) 身体各部の状態と養護に関する事 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事 (5) 健康状態の維持・改善に関する事	(1) 保有する感覚の活用に関する事 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事
2. 心理的な安定	5. 身体の動き
(1) 情緒の安定に関する事 (2) 状況の理解と変化への対応に関する事 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事 (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事 (4) 身体の移動能力に関する事 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
3. 人間関係の形成	6. コミュニケーション
(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事 (2) 他者の意図や感情の理解に関する事 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事 (4) 集団への参加の基礎に関する事	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事 (2) 言語の受容と表出に関する事 (3) 言語の形成と活用に関する事 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

～本校の自立活動のイメージ～



「健康の保持」から「コミュニケーション」までの^{とだい}土台を積み上げていくことで、^つ社会人として自立していく力をつけることができます。

これから自立活動の時間で、「チェックリスト」をつけたり、担任の先生と^{めんだん}面談をしたりして、自分の^{かだい}課題や目標を見つけてください。